

企画の実施プロセスに 様々な人を巻き込んで ネットワークも広がりました

プロジェクト活動を通して人脈も広げたいと考え、課題解決型インターンシップに参加しました。私が選んだ課題は、不動産会社が運営する「野菜市」の企画です。目標は、アパートオーナーである農家が育てる“川崎野菜”を、入居者や地域住民に知ってもらおうと続けているイベントを、もっと周知すること。私たち学生チームは、子どもに人気のヒーローショーや“川崎野菜”の魅力を伝えるパンフレット制作など、短期的な集客だけでなく、長期的なファンづくりもねらった企画を考えました。ヒーローショーは学内サークルに出演を依頼し、パンフレットには直売所や野菜を使っているレストランからのコメントもいただくなど、様々な人を巻き込んだ結果、多くの支援や理解に支えられ、今後につながるご縁もできました。



経営学部 経営学科2年
西田 愛里彩さん
千葉・幕張総合高校出身

REPORT

川崎市溝の口の不動産会社主催「秋の野菜市」の企画・運営

7月

「夏の野菜市」見学与 農家訪問で改善点を発見

まず現状調査と生産者の方にお話を伺うことからスタート。当日、熱を出し欠席した私をメンバーがカバーしてくれました。体調管理の大切さを痛感！

専修大学の学生だからこそ
出来ることを提案したいな！



8月

ミーティングを重ねて 企画を練り上げる

夏期休暇中は月に一度集まり、ミーティングを行いました。たくさんのアイデアを出して取捨選択することで、ベストな提案をめざしました。



9月

企業で企画を プレゼンテーション

パワーポイントで企画書を作成。企業へのプレゼンテーションでは的確なご指導とともに、お褒めの言葉もいただき、モチベーションがアップしました。



10月

パンフレット制作など 事前準備に大忙し！

パンフレット用の取材、ポスター制作など作業が立て込み、役割分担の難しさを感じました。多くの方に協力を依頼していたので諸連絡にも苦労しました。



11月

「秋の野菜市」本番！ 目標を上回る結果に

全集客数は想定していた人数の3.2倍、さらには子どもは8.4倍。子どもがショーを夢中で観ている間、そのお母さんと生産者の会話が弾んだことは、まさにねらい通り！



12月

成果発表会でも 注目を集めて大成功！

成果発表会では限られた時間で興味を引くよう短いコメントで印象付けたところ、多くの方が私たちの活動に関心を持ち、質問してくれました。

